

科目名	博物館概論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	松岡 千寿			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート		グループワーク		○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		○
その他		実務経験のある教員による授業		○
<p>[到達目標] 博物館に関する基礎的な知識を理解し、専門職としての学芸員の基礎能力を養う。 また、博物館を取り巻く現状と求められる役割について知る。</p> <p>[授業概要] 博物館は資料の収集保存、調査研究、展示、教育普及活動など多岐にわたる業務・事業を行なっている。本講義では、現役の学芸員である教員が、博物館に関する法令、諸制度などの基礎知識を現場の実例をもとに紹介し、博物館に関わる様々な事象について多角的に捉えていく。 また、博物館の歴史的経緯と現代における課題を理解し、これからの博物館を積極的に考える視点を提供する。</p> <p>[準備学修(授業前後の主体的な学修)] 新聞やインターネットなどを通して、文化教育一般、博物館関係の記事のリサーチにつとめ、余暇などを利用して博物館を訪れてください。予習復習を合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(学芸員養成課程の概要) 2. 博物館の歴史(1)(海外) 3. 博物館の歴史(2)(日本) 4. 4～5の間で1回学外研修(博物館見学)【10/29(日)もしくは11/5(日)を予定】 5. 4～5の間で1回学外研修(博物館見学) 6. 博物館とは何か(1)(定義・法令) 7. 博物館とは何か(2)(種類・目的) 8. 8～9の間で1回学外研修(博物館見学)【11/26(日)もしくは12/3(日)を予定】 9. 8～9の間で1回学外研修(博物館見学) 10. 学芸員の仕事(博物館を支える人々) 11. 博物館の役割(資料保存や社会とのかかわり) 12. 12～13の間で1回学外研修(博物館見学)【12/24(日)もしくは1/14(日)を予定】 13. 12～13の間で1回学外研修(博物館見学) <p>※学外研修として、特色ある博物館見学を複数回行います。学外研修の出席は必須とします。</p>				

科目名	博物館概論	後期	講義	2 単位
サブタイトル				
担当者	松岡 千寿			
<p>[成績評価方法] 授業中の課題とワークショップ(60%)、レポート(40%)</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業中の課題やワークショップについては、授業の中で講評を加える。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学2-1/講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。 成績評価方法: 授業中の課題とワークショップ、レポート</p> <p>学科DP番号/DP内容: 史学2-5/演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。 成績評価方法: 授業中の課題とワークショップ、レポート</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 責任感/社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題とワークショップ、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 表現力/自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法: 授業中の課題とワークショップ、レポート</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容_: 問題発見力/現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法: 授業中の課題とワークショップ、レポート</p> <p>[教科書(ISBN)] 『新時代の博物館学』ほか適宜プリントを配布する 著者名: 全国大学博物館学講座協議会西日本支部編 出版社: 芙蓉書房 出版 (ISBN-10: 4829505516 ISBN-13: 978-4829505519)</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>				